

令和5年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について（概要）

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

（保護者アンケート）
区立学校に通う全児童・生徒の保護者

（児童・生徒アンケート）

区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査内容】

（保護者アンケート）

【A】 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について

【B】 品川区の教育施策について

【C】 学校と地域との連携・協働について

【D】 ICT教育について

【E】 多様性・多文化理解について
太字は概要で示している内容

（児童・生徒アンケート）

【A】 学校や家での様子について

【B】 英語の学習について

【C】 コンピュータやタブレットなどの活用について

【D】 多様性・多文化理解について

太字は概要で示している内容

※令和元年度の調査から、毎年調査するものと3年に一度調査するものを分けるなど調査項目を精査したうえで実施

【調査期間】

令和6年1月19日（金）から1月31日（水）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

（保護者アンケート）

配布数 22,895

回答数 20,002（内有効数 19,913）

回答率 87.0%

（児童・生徒アンケート）

配布数 19,879

回答数 18,106（内有効数 17,950）

回答率 90.3%

グラフの凡例：

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

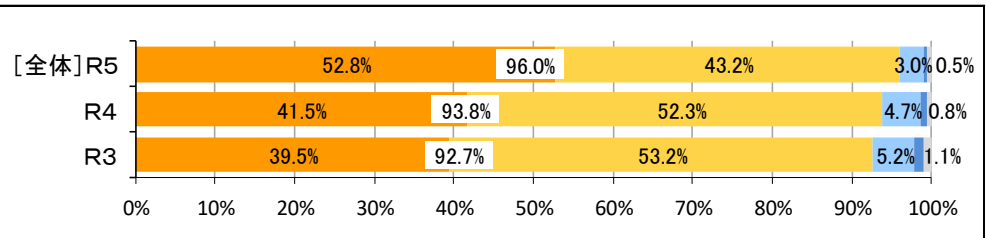
無回答

※『肯定的な回答』は「当てはまる」と「どちらか」と当てはまるの合計。

保護者アンケート

B 品川区の教育施策について

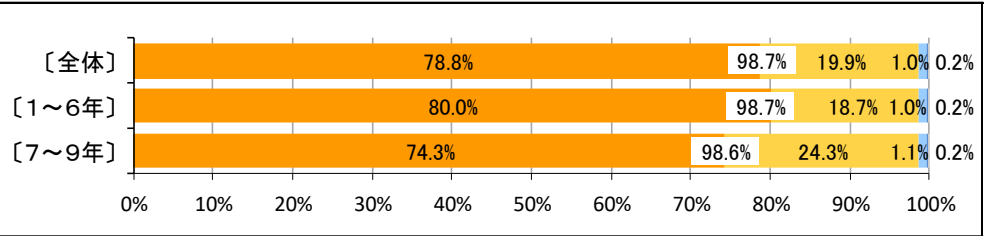
【4】 市民科は、良い学習だと思う。



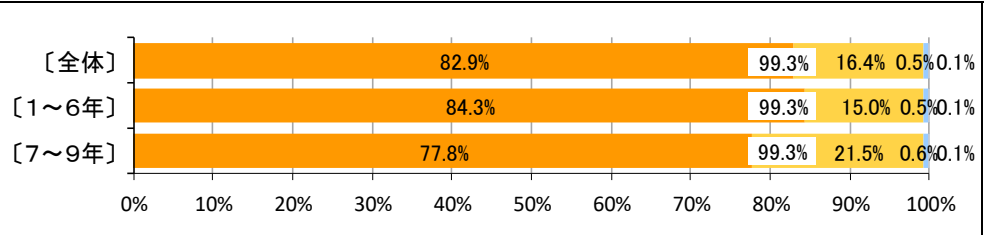
市民科の学習についての満足度は全体では9割以上が『肯定的な回答』しており、令和3年度以降3年間、いずれも高い水準を維持している。

E 多様性・多文化理解について

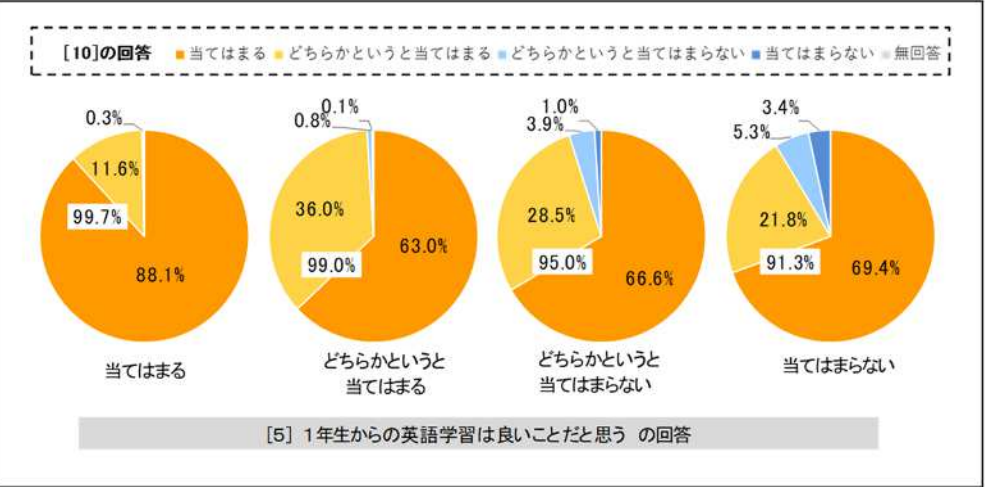
【9】 お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う。



【10】 お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。



【5】 1年生からの英語学習は良いことだと思う とのクロス集計

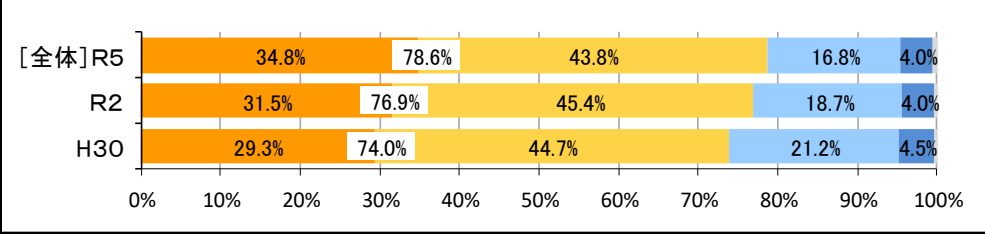


【5】の「1年生からの英語学習は良いことだと思う」の回答のうち、【10】「お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う」の回答状況を見ると、「1年生からの英語学習は良いことだと思う」と回答した人ほどお子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う傾向がみられた。

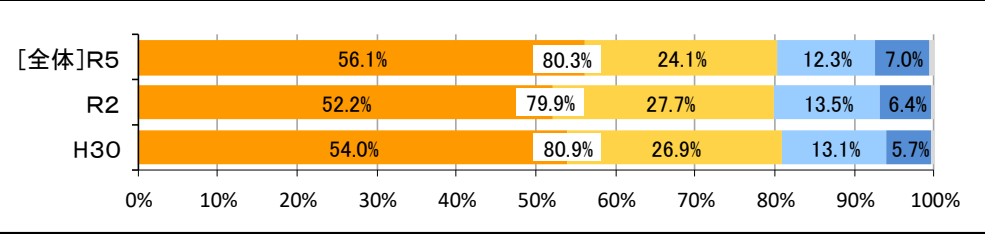
児童・生徒アンケート

A 学校や家での様子について

【2】 (2年) 良いクラスをつくるため、話し合いで意見を言える。
(3・4年) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。
(5～9年) 学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。



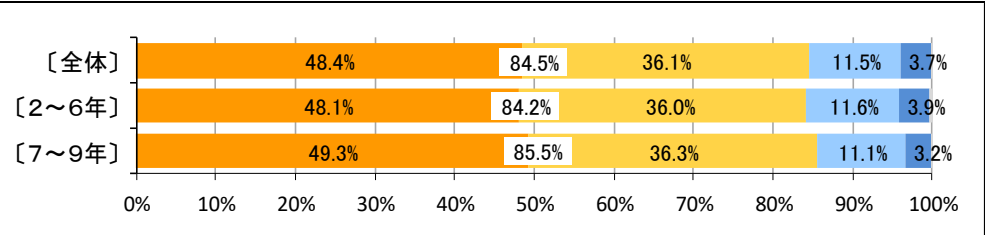
【4】 (2～4年) 将来になりたい仕事ややりたいことがある。
(5～9年) 将来になりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。



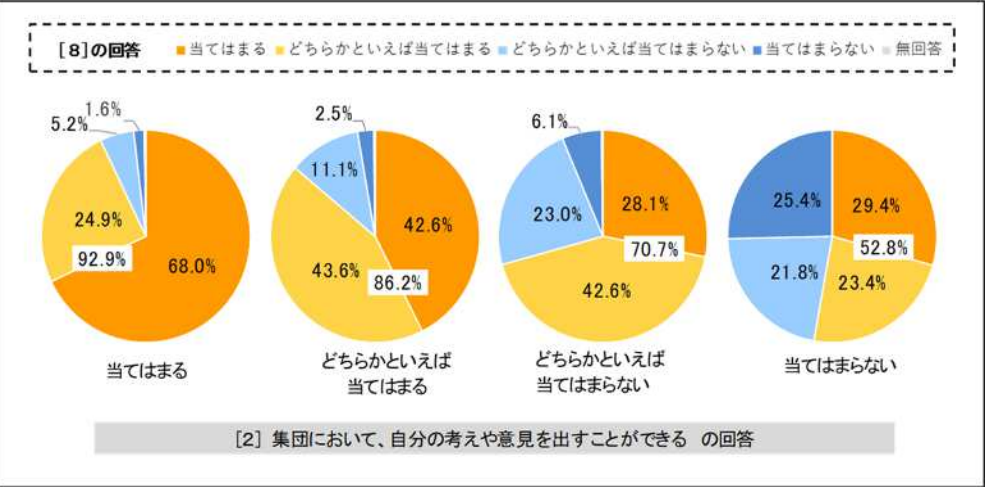
【4】(2～4年)「将来になりたい仕事ややりたいことがある」(5～9年)「将来になりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している」の回答状況を見ると、全体で8割以上の児童・生徒が『肯定的な回答』しており、令和2年度、平成30年度と比較すると大きな変化はみられない。

D 多様性・多文化理解について

【8】 (2～9年) 様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う。



【2】 集団において、自分の考えや意見を出すことができる とのクロス集計



【2】の「集団において、自分の考えや意見を出すことができる」の回答の内、【8】「様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う」の回答状況を見ると、「集団において、自分の考えや意見を出すことができる」と回答した人ほど、様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う傾向がみられた。